

# 愛されている 2016/03/07

中 3 米盛 琴華

私の学校では年に一度、黙想会という行事があります。中学3年生は、神父さんから話をうかがいました。この黙想会で私が一番心に残っていることは、私たちは愛される存在、許される存在であるということです。

私はよく母とケンカをしてしまうのですが、ケンカした次の日でもご飯を作ってくれます。これは私が愛されて、大切に思われているからこそその行動であることが分かりました。

感謝カード作りで感動したこともありました。それは、両親と祖父母に向けて書いているときに、自分の中にはこんなにもたくさん感謝していても、伝えきれていないことがあることに気づき、思わず泣いてしまいました。

感謝カードを書きながら、自分の名前の由来のことも思い出しました。私の父の名前が「まこと」というのですが、自分の名前に入っている言葉を入れたかったそうです。

私は最初、この名前を好きではありませんでしたが、名前の由来を聞いて、自分の名前に父と同じ言葉が入っていてうれしいという思いに変わりました。あらためて愛について考えることのできた黙想会でした。

(伊佐市)